

令和5年6月5日発行

ふる里からの

「ふくろうだより」

6月号

今年の指針
“交わる”

HP検索 :



あかるく やわらかく やさしく

社会福祉法人 隆明会
デイサービスセンター ふる里

長崎県 大村市 鬼橋町 1416番地

TEL (0957) 27-4500

FAX (0957) 27-4501

デイサービスセンターふる里



『ホタル発見！ 大事にしたい葛城の自然！』

先日、5月22日夜の8時頃、仕事が終わっていつものようにふる里を出て“葛城の堤”の近くにある“権現様”への下り坂の辺り、2か所で光るものが見えたのです。「もしかして……。」期待した通りの発見でした。そうです『ホタル』の発見です。今年初めて見る『ホタル』に胸が躍りました。“権現様”を過ぎて先に“大村黒丸五寸人参”を選果する建物の裏に溝が流れていて、そこに『ホタル』が現れることは解っていましたが、“権現様”の所で発見したことには感動でした。わずか数匹の『ホタル』でしたが、その時に私のふるさと三川内の思い出が走馬灯のように思い出されました。以前、ふくろうだよりも書いたと思いますが、実家は、川の側に建っていて、『ホタル』が現れる頃になると『ホタル』が家の中にも入り込んでくることもありました。ばあちゃんと姉ちゃん達と庭に出てホタルを取り、蚊帳が張ってある寝床に放して眺めたり、チリ紙を提灯のように膨らませてその中に入れたり、楽しい夜の思い出がいっぱい浮かんできました。たくさんの『ホタル』が見られた昔、今では本当に見なくなってきたなあと感じます。

『ホタル』の語源は、光りながら飛ぶ様をみて、“火垂る虫”あるいは“星垂る虫”というところからきているそうです。奈良時代には、ホタルは邪気を払う正義感の象徴としてみられたこともあるようです。今振り返って、『ホタル』は、人間が生活するために作り出した水田や用水路という身近な自然環境に住んでいたことから、チョウやトンボなどとともに「人里昆虫」と呼ばれていたそうです。光を放って飛ぶ成虫の期間はわずか1ヵ月ほどですが、その印象は、季節感や生活感を伴って、人の心の中に強く残り、一生持続するようです。人の理性という障壁をすりぬけて、感性の領域まで到達した神秘的な光を放つ『ホタル』は、記憶にも、記録にも残る文化的なものを生み出すという意味で「文化昆虫」と呼ぶにふさわしい生き物だと思います。正に、癒し系の昆虫といえます。たくさんのホタルが見られるのはとても楽しく、そうなって欲しいとも思いますが、近頃私は数は少なくとも、毎年『ホタル』が見られることのほうが大切だと思います。そのためには、自然環境の悪化を防ぐ努力を続けながら、地元の『ホタル』を大切に保護する必要があるなあと思います。また、ホタルの光には、「1/fゆらぎ」と言いう、そよ風や川のせせらぎ、潮騒などと同じように私達に対して精神的な安らぎを与えてくれるα波を刺激する“変動波現象”を持っているとされています。小さい子供たちと一緒に観察したいものです。

昨年、職員が、「ホタルは何処で見られますか？」と尋ねて来たので教えました。後日見に行ったそうです。今年も見に行つて子供さんに不思議体験をさせて欲しいです。 センター長 森 隆敏

5月行事



5月行事は、5月16日(火)から18日(木)の三日間“爽やかな季節に、ボールではじけちゃおう”の目的で、『気分はホップ☆ステップ☆ジャンプ』を開催しました。朝、ふる里に到着しフロアに入られ大きな看板にまず感動!「どんなゲームかな」とワクワクされていました。今回のレクリエーションは“てんとう虫チーム”と“みつばちチーム”に分かれての対抗ゲーム。一日目は『ボールをころがそう』のゲーム。てんとう虫やみつばちに彩られたアーチに点数を付け、その中をボールを転がし潜れたアーチの点数の合計が獲得点で争います。大きさが違うボールを三球順に投げます。運良くまっすぐ進んで行くボール、途中で引っかかってしまうボールなど、いろいろな事がありました。皆さんしっかりと点数を獲得されていらっしゃいました。最後まで引っかからずにボールが転がると「おおー!」と歓声が上がりました。二日目も同じゲームを行いました。職員も利用者様も真剣そのもので盛り上がっていました。ちなみに、職員よりも利用者の方が高得点を出していらっしゃいました。三日目は『ハラハラドキドキ』のゲーム。このレクリエーションは円柱のスポンジに長方形のプラスチックの板を張り付けた物に、お手玉を15秒間の間にお手玉をいくつ積むことが出来るかを競うゲームです。板は薄い為端の方は少したわんでいてお手玉もするすると滑っていきます。バランスを崩して板が傾いてお手玉が全部落ちた時には、「あー」や「惜しい」などの声が職員や利用者様から上がりとても熱いレクリエーションになりました。中には10個以上置いた人もいらっしゃいました。「こんな楽しいゲームいつ考えらすとやろう!」行事を楽しみにされている利用者さんの思いが伝わりました。

1日目



2日目



3日目



てんとう虫とみつばちの仮装

今回5月行事の司会者の仮装は一日目と二日目はてんとう虫の衣装を纏い、踊りながら登場しました。皆さんから手拍子を頂き、とても盛り上がり、司会者もノリノリでした。退場の際は他の職員も踊りに参加され、最高にその場がり上りました。三日目はみつばちの格好での登場、爽やかな曲に合わせて登場しました。こちらも皆さんからの手拍子があり、上手く踊ることが出来ました。レクリエーションが終わると昼食です。今回は『鯉のぼり』がテーマで、お寿司の鯉、厚焼き卵の鯉、魚の天ぷらの鯉のぼり、美味しさは勿論見て楽しい食事でした。行事担当 田口 真一 明時 菜穂子



司会仮装&ダンス

テーマは鯉のぼり



鯉のぼりちらし



鯉のぼり風厚焼き卵



きびなご梅フライ



おはぎ



ロールパンの
マリンデザート



チーズケーキ



5月12日金曜日に『ちまきづくり』をしました。蒲池常子先生の指導で作りました。昔取った杵柄、楽しいひと時でした。



5月2日火曜日には、『めぐみ会』の皆様による日本舞踊の踊り。最後の総踊りは最高でした。

5月22日月曜日は、『久美歌会』様の日本舞踊がありました。傘や刀を使っての踊りは勇ましく会場の皆さんも釘付けでした。

毎月行われる、『おはなしの部屋』5月20日の土曜日に坂中・西村先生が来られ、絵本の読み聞かせとオカリナの演奏で楽しみました。



居宅介護サービスセンター ふる里

【居宅介護サービスセンターふる里】とは…

介護全般の相談役となり、介護保険について、介護保険の申請代行、ケアプラン作成、介護サービスの紹介・支援など行いケアマネージャーが皆様の心配事を専門的な立場で、安心した生活を送っていただく方向で解決いたします。業務に関する手数料や、ご利用に係る料金は無料です。24時間サービス体制をとっていますので、介護・福祉のアドバイザーとしてご家族の身近に置いてください。

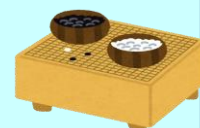
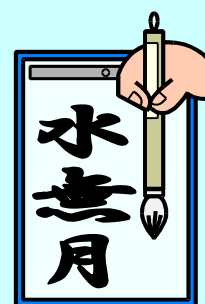


六月の行事予定

◆ふる里 6月行事 『クイズ! どうなるで SHOW☆』
6月13日(火)・14日(水)15日(木)



- ◆生け花教室 ~齊藤マサミ先生~ 7日(水)・22日(木)
- ◆書道教室 ~中村朱実先生~ 12日(月)・29日(木)
- ◆おはなしの部屋~鐘ヶ江先生他~ 19日(月)
※1 ふる里おはなしの部屋の時は、**午前中入浴**となりますので、皆様のご協力を宜しくお願いします。
- ◆押し花教室 ~中村壽美子先生~ 27日(火)
- ◆麻雀・将棋・囲碁 … 毎週水曜日午後
(7日、21日 予定)
- ◆訪問ボランティア ~ヒロバンド様~ 28日(水)
~まつぼくり様~ 22日(木)



~5月の趣味活動の作品~



書道教室



押し花教室



生け花教室

6月に入り、梅雨が始まり気温と湿度の高い日が続く事が多くなりました。今月訪問ボランティアさんが二組来てくださいます。どんな内容なのかワクワクした気持ちが沸き上がります。暑さに負けず、皆さんと一緒にふる里を盛り上げていきましょう。そしてふる里の玄関には、ふる里をご利用されている吉田様が描かれた水墨画が飾られています。素晴らしい作品をぜひご覧ください。最後に、家では部屋を涼しくして、水分をしっかり摂るよう心がけましょう。 編集後記 田口 真一

